

平成26年度 訪問診療スタート支援事業における症例検討

日時 【場所】	事業名	テーマ	症例	参加者(再掲:病院職員) 【医師数(再掲:病院Dr)】
平成26年 5月27日 【川崎医科大学付属 川崎病院】	川崎医科大学付属川崎病院 における在宅医療・介護連携 カンファレンス	病院から在宅医療に向けて～事 例検討を中心に～	・パーキンソン病(飛岡Dr) ・緩和ケア連携パスを使用した病診連携行い 再度の在宅ホスピス導入が可能となった進行 期非小細胞性肺癌症例(山根Dr) ・食道がんの多発転移(山辻Dr)	75人(36人) 【28人(15人)】
平成26年6月11日	【第1回】 訪問診療スタート支援研修 キックオフ	グループディスカッション	胆のうがん患者の在宅看取り(佐藤Dr事例)	60人 【51人】
平成26年8月22日	【第3回】 訪問診療スタート支援研修	症例検討+小グループディスカッ ション(臨床倫理)	・舌癌の症例 ・認知症の症例 ・ALSの症例	31人 【25人】
平成26年9月12日	【第4回】 訪問診療スタート支援研修 (市医プライマリ・ケア研究会 と共催)	在宅医療の困難事例の症例検討 会	・【講義】緩和ケアの基礎知識(石原Dr) ・がんの疼痛緩和の症例(菅崎Ns) ・在宅での緩和の症例(小森Dr)	113人 【42人】
平成26年10月8日	【第5回】 訪問診療スタート支援研修	看取りについて患者個人の意思 をどこまでどのように尊重するか (安田Dr事例)	・患者個人の意思を尊重して在宅看取り(肺 気腫、慢性呼吸不全) ・介護の妻の意思を尊重して在宅看取り(誤 嚥性肺炎 他) ・認知症対応グループホームでの看取り(認 知症 骨折)	55人 【32人】
平成26年10月28日 【岡山済生会総合病 院】	【第6回】 訪問診療スタート支援研修	在宅移行事例検討 「急性期病院から在宅医療・介護 連携に向けて」～検討事例から地 域連携を考えてみよう～	・”ときどき入院、ほぼ在宅”を可能にするた めの急性期病院との連携(森脇Dr) ・溺水による肺炎、敗血症、DICに対する加 療後、在宅診療をお願いした症例(山本Dr) ・肺癌多発転移で治療開始後、症状悪化し 在宅診療移行できず、当院PCUで亡くなられ た症例(野村Dr)	96人(34人) 【38人(18人)】
平成26年10月28日 【岡山労災病院】	【第7回】 訪問診療スタート支援研修 在宅移行事例検討	病院から在宅医療に向けて ～事例検討を中心に～	・進行胃癌(谷岡Dr) ・乳がんの多臓器転移(小森Dr)	110人(43人) 【22人(4人)】
平成26年11月14日	【第8回】 訪問診療スタート支援研修 (市医プライマリ・ケア研究会 と共催)	在宅医療の困難事例の症例検討 会	・心不全の在宅での看取り(氏平Dr) ・COPDの在宅での看取り(安田Dr) ・認知症の在宅での看取り(森脇Dr)	103人 【35人】
平成26年12月 2日 【岡山赤十字病院】	【第9回】 訪問診療スタート支援研修 在宅移行事例検討	病院から在宅医療に向けて ～事例検討を中心に～	・転移性脊椎腫瘍(喜多嶋Dr) ・非がん患者の終末期をどう支えるか～患者 家族の思いを支えるために～(瀧本Dr)	88人(35人) 【30人(13人)】
平成27年 2月 5日 【岡山市立市民病 院】	【第11回】 訪問診療スタート支援研修 在宅移行事例検討	病院から診療所医師への連携を めざして ～事例検討を中心に～	・胃がんの化学療法中止を契機に在宅医療 に移行した一例(同じ事例を病院側と在宅側 の視点からそれぞれ検討) ・血液疾患患者(びまん性大細胞型B細胞リ ンパ腫)の病診連携にむけて～在宅看取り ～	112人(52人) 【30人(13人)】
平成27年3月12日 【岡山中央病院】	御津医師会・岡山中央病院 症例検討研修会	「ときどき入院ほぼ在宅への協同 を目指して」	・肺炎を機に心不全が悪化した超高齢者の 症例～同居家族と親戚家族の葛藤を経て～ (森脇Dr) ・誤嚥性肺炎(脊椎管狭窄症)治療後に妻と 共に入所した症例 (大橋Dr) ・S状結腸癌術後再発の症例～在宅看取り に至ったケース～(酒井Dr) ・慢性心不全急性増悪を繰り返す症例～介 護者サポートで転院可能に至ったケース～ (寒川Dr)	73人(36人) 【20人】
平成27年3月23日 【心臓病センター榊 原病院】	【第13回】 訪問診療スタート支援研修 在宅移行事例検討	「心不全患者の終末期における 病院、在宅での現状について」 ～急性期病院と在宅医双方の視 点から～	・心不全症例(松本Dr) ・心不全症例(氏平Dr)	